

和地ひとみレポート No.256

ついに決定！！東大和市のブランドプロモーションのロゴマーク 職員全員が同じ方向を向いて行う取組みに期待

■産業まつりでタウンミーティング開催

…11月4日、5日の2日間、市役所の駐車場と中庭で開催された第48回東やまと産業まつり。4日の午後には、そのステージで“第15回市長と語ろう会タウンミーティング”が「東大和市のシティプロモーションについて～ブランドメッセージの活用」というテーマで開催されました。

…通常は、市役所の会議棟や公民館などで開催されているタウンミーティングですが、産業振興、市の活性化を目的に開催される産業まつりと、今回のテーマが合致しているということ、さらに、ブランドプロモーションのロゴマークの発表会ということもあり、今回は産業まつりでの開催。産業まつりは、好天にも恵まれ、多くの人出があったので、今までタウンミーティングに参加されていない方々などの多くの市民の参加を期待していたところでしたが、他のステージの出し物と比較すると、参加者が少ない状況で残念でした。

■投票で決定したブランドメッセージのロゴ



…今回のタウンミーティングの司会は、東大和市のシティ・プロモーション（東大和市ではブランドプロモーションと呼んでいる）のアドバイザーである関東学院大学 法学部地域創生学科准教授 牧瀬稔先生のゼミの学生2名が担当。

今までとは違った明るい雰囲気で行われました。

…タウンミーティングの冒頭、今回、市民投票で決定したブランドメッセージのロゴマークが発表されました。このロゴマ

今回決定した ブランドメッセージのロゴ

ークは、以前、このレポートでもご紹介したとおり、デザイン会社が“東京 ゆったり日和 東大和”のブランドメッセージから作成した3つのデザインから、市民投票により決定されたものです。

…今回の市民投票では、合計4,107票の投票があったとのこと。投票は、ホームページからの投票、公共施設等に設置した投票箱への投票のほか、玉川上水駅前広場、上北台駅、イトーヨーカドーに職員が出向き、ボードにシールを貼って投票してもらうシール投票を実施したり、一部の学童保育所での投票や高齢者の通所のリハ



ビリ施設での投票などを依頼するなど、まさに老若男女と幅広く市民の参加を呼び掛けた取組みをしたとのこと。

【投票手段別の投票件数】

- ① 公共施設等に設置した投票箱への投票 2,479票
- ② ホームページからの投票 516票
- ③ FAXによる投票 7票
- ④ 郵送による投票 15票
- ⑤ シール投票 1,090票

■ブランドメッセージに込めた思い

…また、今回のタウンミーティングには、先日、決定したブランドメッセージ“東京 ゆったり日和 東大和”の考案者であり『東大和市まち・ひと・しご創生会議』の委員も務められている水上氏も出席され、このメッセージについての思いなどが語られました。

「本日、素敵なデザインも決まり、これから皆さんにこのメッセージを伝えられることを嬉しく思います。東大和市は東京という都市でありながら、“心地よい”、“ちょうど良い”が沢山あって、ゆったりと贅沢な時間が過ごせるところです。また、子育てサポートも充実していて、子育てするにもゆったりと出来る場所です。そんな東大和市の魅力を皆さんにお伝えたく、このメッセージを考えました。発表するまでに、たくさんの時間をかけて市民の皆さんのお声を聞き、市のスタッフのお知恵を借りて、みんなで作り上げたメッセージだと考えています。“東京 ゆったり日和 東大和”をどうぞよろしくお願いたします。」

(裏面に続く)

■東大和市の現状は

…シティプロモーションは、まちの知名度をアップさせることが目的です。また、東大和市では、このプロモーションで定住人口の増加を目指しており、転入の促進を図るターゲットとして、

- ① 住宅の購入を検討している世帯
- ② 子どもが小学校に就学する前の世帯
- ③ 30歳代の世帯

を設定しています。これらのターゲットを選んだ理由としては、人口減少の抑制と今後の人口構造の変化も考慮し、より年少人口や生産年齢人口の増加を図る必要があると考えたからとのこと。また、転出超過となっている年代がこの世代ということも理由の一つ。東大和市から転出する人数が多い年代は20歳代後半から30歳代前半で、かつ、この世代の定住意向も低い傾向にあることを市は課題だと考えています。

…今回のタウンミーティングでは、東大和市にとって、なぜ、シティプロモーションが必要なのかについて、市民にも知ってもらうために、東大和市の現状について、3択のクイズ形式で出されました。①と②はブランド総合研究所という民間会社が行った地域ブランドに関する2017年の調査結果から、また、③については日本経済新聞社と日経BP社が共同で行った“子育てしながら働きやすい街”の2016年の調査結果から出題されたものです。

- ① 東大和市の認知度について。全国の1000の市区町村の中で、何位か？
A:13位 B:286位 C:589位
- ② 東大和市の魅力度について。全国の1000の市区町村の中で、何位か？
A:39位 B:385位 C:770位
- ③ 東大和市は、子育てしながら働きやすい街ランキングで、全国の主要市と23区、計147市・区のうち何位か？
A:4位 B:38位 C:65位

…①の正解はC:589位、②の正解もC:770位、③の正解はA:4位。③の子育てしながら働きやすいまちランキングについては、市でも様々なところで広報していることもあり、ほぼ全員の方が正解。①についても、多くの方が正解のCを選んでいました。②について、私はBを選択して不正解でした。東大和市は東京都にあるのですから、全国の1000の市区町村と比較した魅力度としては、通勤通学のアクセスの良さや、病院が整っていること、買い物などの利便性もありながら、自然もあるということを考えて、真ん中より上のランキングだと思って選んだのですが、残念ながら、下から数えた方が早いという結果だったと知りました。

■知名度を向上させ、まずは選択肢になる

…このクイズの後、尾崎市長から、これから本格的にすすめていくシティプロモーションの趣旨について以下のとおり返答されました。

「今現在、全国のそれぞれの自治体が少子高齢化の伸展、人口減少という大きな課題を抱えているが、東大和市においても例外ではなく、将来、持続可能なまちづくりを行っていくためには、人口減少の抑制に取り組んでいくことが急務となっている。若い世代、あるいは子育て世代を中心とした皆様に、この東大和市に住むということ、選択肢として出していきたい。東大和市の魅力をPRしながら、市の知名度を高め、人口減少を抑制するシティプロモーションを行ってきたい。これまでは、どちらかという市内に対する広報活動を中心におこなってきたが、これからは、市の外に対して、どれだけ市の魅力を伝えていけるかということが重要になってくると思う。そのためには、市の職員はもちろん、市民の皆さんや団体も一緒になって取り組んでいかないと、うまくいかないのではないかと考えている。まず、職員全員が同じ方向を向いて、進めていくんだという一体感が必要だと思っている。」

…また、参加されていた市民の方からは「職場で、住んでいるところを聞かれて、東大和市と答えると『神奈川の？』と聞かれてしまうのが残念。」という意見が出ました。それに対して市長は「このような声は多く耳にする。私たちの日常の中では、東大和のことを『やまと』と言うことが多くなっているが、出来れば『東大和』と『ひがし』を頭に付けて、私たちも呼ぶことから始めることも必要ではないかと考えている。」と回答されていました。さらに市長は「東大和市もそうだが、市内の団体や会社も、市の外に向けてのPRということは、おそらく経験がないのではないかと思います。今、シティプロモーションの指針というものを作成しているが、この指針は一定の方向性は示しているものの、市民の皆様から見たら『違うんじゃないか？』ということも出てくると思う。そういう時は、柔軟に変えながら、効果のあるプロモーションを進めていきたい。」とも言っていました。

…今回のタウンミーティングの中で市長は、何度も「職員全員が同じ方向を向いて一体となり・・・」と発言されていました。縦割り行政のために、効果、効率が半減していることは今までも多くみられましたが、今回のシティプロモーションを成功させるためには、横断的に取り組むことが必要。また、これを機に横断的に取り組む効果を実感してもらうという効果も、このプロモーションの成功にはあるのではないかと思います。今後の取組みに注目したいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102